

個別目標 1-2 | 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります

施策 1-2-3

障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります



【10年後のめざす姿】

- 障がい者が、選択可能な量と質が確保された様々なサービスを、自らの希望により活用し、社会参加、就労しながら地域で自分らしく暮らしています。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



モノサシ(指標)	現 状	25年度	30年度
障害福祉サービス等利用者の満足度(実態調査)(%)	60%	70%	80%
就労支援ネットワークからの年間就職者数(人)	50人	70人	90人

【現状と課題】

19年度末現在、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している人は、各々 18,216人、3,178人、1,918人で、年々増加しています。発達障がい*や高次脳機能障がい*など、障がいの内容も多様化するとともに重度化も進み、高齢の障がい者も増えています。

大田区では、これまで特別支援学校・学級*の卒業生等の社会参加を進めるため通所施設・訓練事業や就労支援の充実を図ってきました。また、社会福祉法人等の民間事業者による様々なサービスが展開されています。しかし、障がい者やその家族がそれぞれの特性にあわせて選べる、良質で十分なサービス(事業)や社会資源の整備は十分とはいえません。

同時に、障がい者一人ひとりの人権を尊重し、自らの選択と参画で、自ら望むまちで、自分らしく暮らし続けるために、サービス提供基盤、地域での支えあいの仕組み、働くための環境や総合的な支援体制の整備が求められています。

【施策の体系】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります

障がい者を支える仕組みづくり

(仮称)障害者総合サポートセンターの設置

高齢者等の権利擁護の推進(再掲)

NPO*等民間との連携

地域で障がい者を支えるボランティア・人材の確保、育成

災害時相互支援体制の整備(再掲)

障がい者が地域で自立して暮らすための支援の充実

就労支援の充実

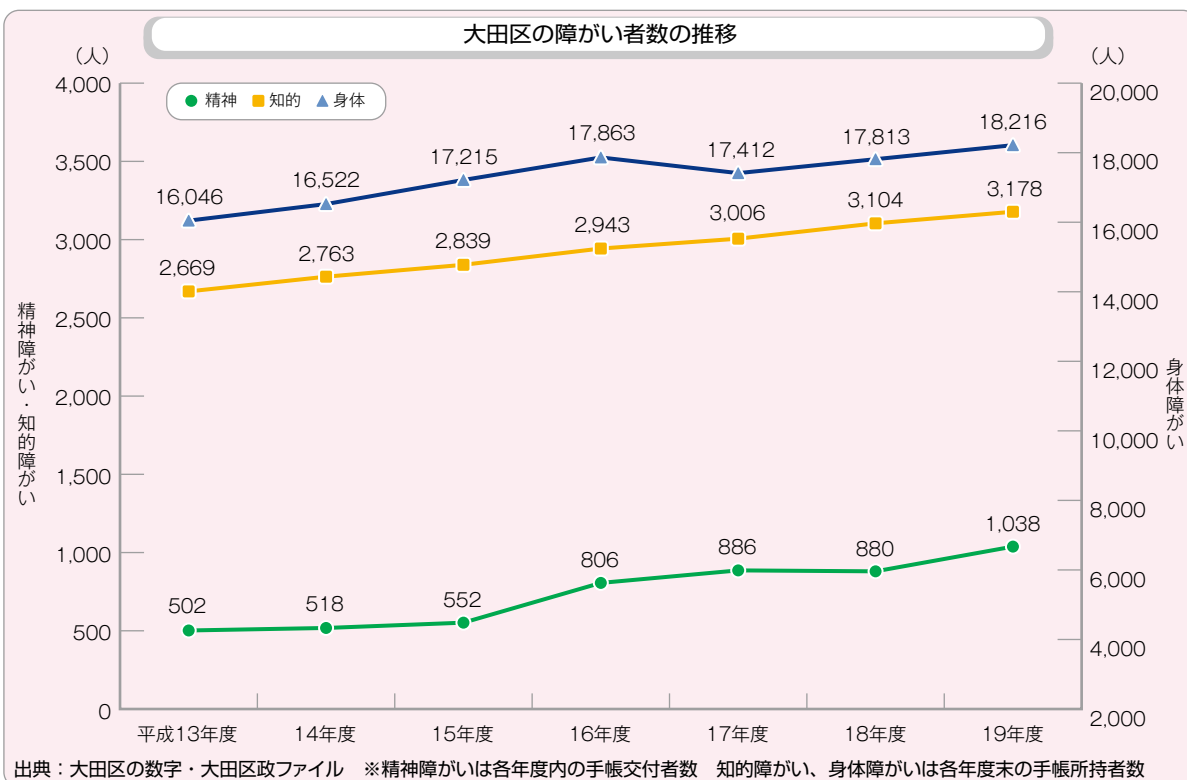
地域生活移行支援(グループホーム*等)の充実

居宅生活支援(緊急一時保護等)の充実

日中活動支援(施設サービス等)の充実

参加・交流の促進

ふれあい広場事業の充実



【 施策の方向性と主な事業 】

①障がい者を支える仕組みづくり

地域自立支援協議会をはじめとする障がい者を支えるネットワークを構築します。療育相談、教育、施設等の連携促進とボランティアや人材の育成を図りながら、地域での支援体制や相談体制などを充実させ、障がい者の生活をサポートします。その拠点施設として(仮称)障害者総合サポートセンターを整備します。

計画事業名	(仮称)障害者総合サポートセンターの設置						
主な取組内容	障がい者(児)の地域における自立した生活を支援するため、相談や就労支援などを総合的にサポートする機能を備えたセンターを開設します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
(仮称)障害者総合サポートセンターの設置		基本計画策定	調査 基本設計	実施設計	工事		竣工運営 相談支援、 自立支援・ ネットワーク、 交流支援、 ボランティアセン ター、家族 支援等の充 実
地域自立支援協議会等との連携							継続

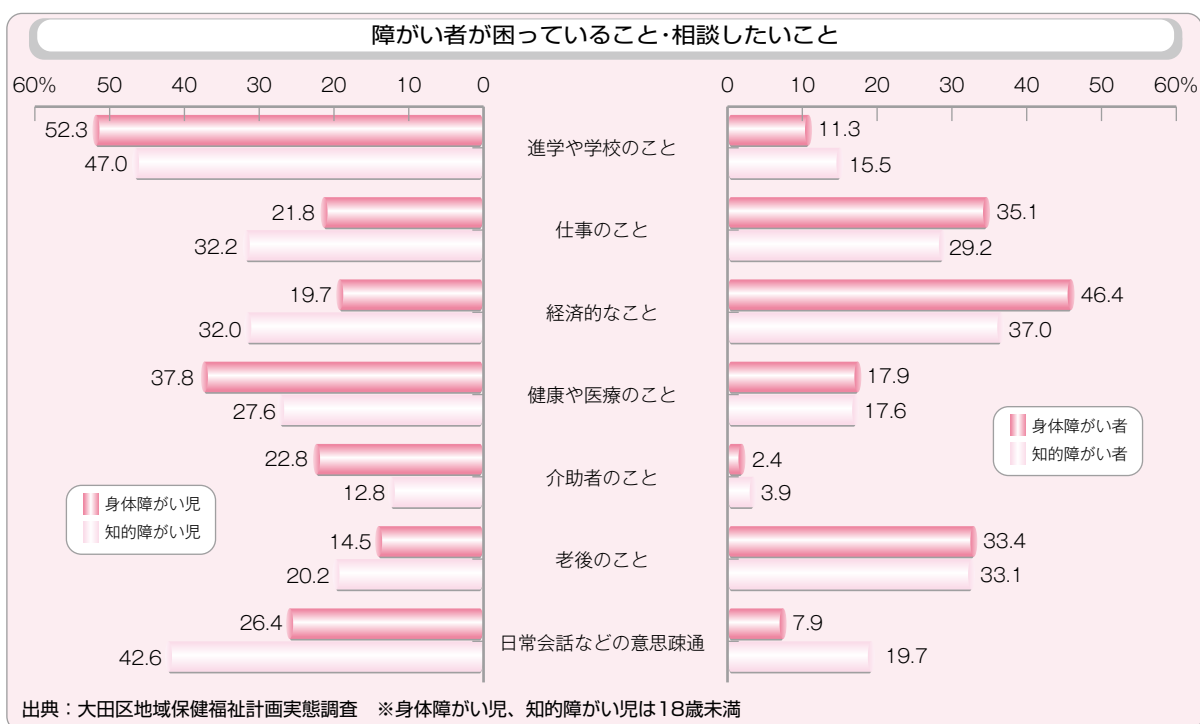
計画事業名	高齢者等の権利擁護の推進(再掲) ➡詳細は、P99を参照してください。
--------------	---

計画事業名	災害時相互支援体制の整備(再掲) ➡詳細は、P165を参照してください。
--------------	--

②障がい者が地域で自立して暮らすための支援の充実

重度心身障がいや発達障がい*への対応も含めた地域生活支援・通所、就労支援等事業の充実を、社会福祉法人等の民間事業者の創意も活かしながら進めます。地域移行を進めるために精神障がい者や親なき後の障がい者のための施設・環境整備にも取り組みます。

計画事業名	就労支援の充実						
主な取組内容	これまで培ってきた就労支援のネットワークをさらに発展させ、ハローワーク、区内特別支援学校*、障がい福祉施設や関係機関と連携し、障がい者の一般就労をさらに促進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
多様な障がいに対応した就労相談の推進							(仮称)障害者総合サポートセンターへの事業統合
就労の促進							
定着支援(累計)		250人	300人	350人	400人	450人	
就労支援ネットワーク構築		調査・研究シンポジウムの実施	検討・協議	構築(精神)	構築(発達・高次脳機能)	連携	
地域自立支援協議会等との連携							



計画事業名	地域生活移行支援(グループホーム*等)の充実						
主な取組内容	親なき後の障がい者や介護者の高齢化・疾病時に障がい者の居住の場を確保するため、グループホーム・ケアホームに対して整備費補助及び区の未利用地の貸付等を行います。また、自立生活訓練や地域で自立生活を行っている障がい者の生活支援の場の整備や、地域生活移行支援コーディネート*体制の整備を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
グループホーム、ケアホーム整備支援							継続
自立生活訓練や生活支援の場の整備	検討	整備					継続
地域生活移行支援コーディネート体制の整備	検討	整備					拡充



みんなで力を合わせ
革製品やおいしく安全な
クッキーなどを作っています。

上池台障害者福祉会館における作業風景



③参加・交流の促進

地域で様々な形で活動する区民とのふれあい・交流や、障がい者の地域活動参画を活性化させます。障がいについての相互理解を深め、支援の輪を広げ、心のバリアフリー*化も推進します。

計画事業名	ふれあい広場事業の充実						
主な取組内容	障がい者相互の参加交流とより幅広い区民参加を促進するため、「しょうがい者の日のつどい」の開催方法を検討します。また、新たな交流促進の場として(仮称)障害者総合サポートセンターで高齢者や子ども等を含めた幅広い区民とのふれあい・交流の場づくりを検討します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
しょうがい者の日のつどいの実施		つどいの実施開催方法の検討	新方式のつどいの開催				継続
福祉施設まつりの実施							継続
障害者福祉強調月間の実施							継続
(仮称)障害者総合サポートセンター交流事業の実施						検討	実施



地域での防災訓練



しょうがい者の日のつどい